

Catalogue No.

20197-158



グッドデザイン賞

グッドデザイン賞は、1957年に通商産業省によって創設されたグッドデザイン商品選定制度（Gマーク制度）を母体とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度です。現在は（財）日本産業デザイン振興会が運営し、グッドデザイン賞を受賞したことを示すGマークにより“デザインの良さ”を推奨し、社会とデザインのコミュニケーションを図っています。

2009年度グッドデザイン賞 受賞



PALLONE[®] フォーマルエレガントライン
パローネ[®]



DIAMANT[®] カジュアルモダンライン
ダイヤモンド[®]

〈受賞製品のアピールポイント〉

- 鉛などの有害物質を一切含まないクリスタルガラス組成で作られる「優れた環境性」
- アルカリ洗剤に強く、クリスタルガラスでは世界初の全面イオン強化加工により未強化品に対して1.5倍強度が向上した「高い機能性」
- 日本の食生活を熟知した日本人デザイナーによる設計思想で創られた「美しく使いやすいデザイン」

東洋佐々木ガラスは、第1回グッドデザイン賞（1957年）での受賞をはじめとして、その歴史とともに、250アイテムにもおよぶグッドデザイン受賞品を生み出してきました。そして、現在51アイテムのグッドデザイン受賞品を製造・販売しています。今後も、「グッドデザイン賞」への参加を通じて、社会に優れたデザインを訴求し、生活者の共感を得る商品づくりに取り組んでいきたいと考えています。



冷茶碗 1957年第一回受賞
現在は非売品でありGマーク対象品ではありません。